議会だより しらおか
Shiraoka

読んで、知って、もっと身近に。



※写真中の絵本は生成 AI で作成したイラストです。

特集　令和７年度一般会計歳入歳出決算認定　P2・3

令和７年度特別会計・公営企業会計
歳入歳出決算認定　P4・5

令和８年度　補正予算　P6

基本構想の策定、人事、工事請負契約の締結　P7

一般質問　市政のそこを問いたい！　P8～14

委員会活動報告
「見たこと・聞いたこと・そして考えたこと」　P15

審議結果、
パブリックコメント（白岡市議会議員政治倫理条例（案））　P16

読書の秋。ゆるバース2026（旧ゆるキャラグランプリ）で活躍したシラオ仮面と一緒に、議会だよりを手に取り、議会をもっと身近に感じていただけると嬉しいです。

No.233

令和８年７月臨時会
令和８年９月定例会
（2026.11.1 発行）

白岡市のホームページで議会の情報（議案、会議録等）が見られます。
https://www.city.shiraoka.lg.jp/shiseijoho/shigikai/index.html

白岡市議会　ホームページ

《９月定例会》

8月27日から9月25日までの30日間にわたり、議会定例会が開かれ、市長提出議案21件を審議しました。

令和７年度 一般会

歳　入

217億2134万7710円

（前年度比3.1％増）

企画政策課

問　ふるさと納税事業の成果について、「農業や産業の振興に寄与した。」とあるが、具体的にどのようなことか。また、ふるさと納税額を増やすためにどのような工夫やPRを行ったのか。

答　ふるさと納税事業は、令和6年度と比較して、約800万円増額したことが成果である。返礼品の梨だけでも、令和6年度は917万円の寄附だったところ、昨年度は1424万円の寄附を集めた。先行予約等の取組を行ったことで、寄附額が増えて農業や産業への寄与につながったと考える。12月の駆け込み需要に合わせて広告費をかけたり、制度改正前にPRしたりと工夫をしている。

総務課

問　職員研修事業について、令和6年度と比較して決算額が減少しているが、その理由は。

答　民間の研修機関の受講料が比較的高く、受講人数によって変動がある。また、令和7年度は、庁舎火災を受け、例年実施している職員全体研修を埼玉東部消防組合に協力いただいたため、20～30万円程度かかっている研修費用を抑えられた。

街づくり課

問　エリアマネジメント推進事業の業務委託はほとんどが人件費と聞いているが、その割合は。

答　令和6年度は87.7％、令和7年度は95.5％となっている。業務委託はイベント開催のほか、エリアマネジメント団体の収益事業確保の検討支援なども実施している。

ファシリティマネジメント推進課

問　公用車集中管理事業について、令和6年度と比較して保険料が安価となっているが、その要因は。

答　車両の入れ替えに伴い、新しい車両の保険料が安価となったこと、また、車両の安全性能が上がり、事故率が下がったこと等も安価となった要因と考える。

安心安全課

問　防災用備蓄品等整備事業について、簡易トイレや段ボールベッドの備蓄数はどのくらいあるのか。また、安心安全課として目標備蓄数は設定しているのか。

答　令和7年度の購入数は、簡易トイレが36台、段ボールベッドが180基である。備蓄総数については、簡易トイレが1,889台、携帯トイレが17,500個、簡易ベッドが184基である。最終的な目標備蓄数について、具体的な目標数は設定しておらず、できるだけ多く備蓄するために年々追加していく。

財政課

問　市役所庁舎火災に係る財源の市債及び特別交付税はどのように判断したのか。

答　原則、市債は施設の復旧などの建設経費、特別交付税はソフト経費が対象として整理している。

商工観光課

問　プレミアム付商品券事業について、商品券の最終的な換金率はどのくらいか。

答　発行額は1億8000万円、そのうち換金額は1億7923万8千円で、使用率は99.58％である。

議案第67号 認定　令和７年度 一般会計歳入歳出決算

計決算をチェック!

歳　出
204億5755万9639円
（前年度比2.0％増）

差引額
約12.6億円
12億6378万8071円

福祉課

問　重層的支援体制整備事業は、令和7年度から開始したが、成果と課題は。

答　成果は、各種制度の利用には至らないが、見守り等の支援が必要なかたに対し、アウトリーチにより、相談に入ることができたことである。課題は、子ども食堂や居場所づくりなどの地域づくり事業にしっかり取り組まなければならないことである。

健康増進課

問　白岡中央総合病院の機器等取得支援基金の積立金額は、どういう根拠に基づいて算出されているか。また、地域貢献に資する機器等の取得について、補助対象となる機器は。

答　積立金の内訳は、一般財源が1000万円、企業版ふるさと納税が8660万円、利子で16万8348円となっている。機器については、ＭＲＩ、災害用簡易ベッド、非常用電源、空気清浄機などを想定している。詳細については、今後、病院側と協議していくこととなる。

教育総務課

問　地域クラブ活動のプログラミングでパソコンを使う。 タブレット端末では限界がある。使用できるコンピュータ室やパソコンはあるのか。

答　地域クラブ活動におけるプログラミングについては、白岡中学校のコンピュータ室を使用予定である。 パソコンは、市職員が使用していたパソコンをデータ消去し、クリーニングした状態で使用する予定である。

生涯学習課

問　市内遺跡発掘調査事業について、発掘調査報告書を刊行したとあるが、多額の経費をかけて刊行された報告書は、どのくらいの人が目にするものか。

答　発掘調査報告書は300冊刊行し、各所に配布しているほか、生涯学習センター窓口での頒布や図書館に配架し閲覧に供している。

教育指導課

問　学習用タブレット端末の故障等の修繕には、保険適用があると思うが、修繕件数と内容は。また、修繕中の対応は。

答　保険適用は201件で、主な修繕内容は画面の破損である。修繕に出した際は、GIGAスクールサポーターが代替機を手配している。

総括質疑

問　庁舎火災は想定外であり、発生後、今回が初の決算である。火災に起因し発生した歳出の総額は。また、歳入の内訳と総額は。

答　庁舎火災に関連する歳出決算額は、総額が約4億9599万円である。歳入決算の内訳は、特別交付税、国庫補助金、県支出金、寄附金、市債及び諸収入があり、総額が約3億8734万円である。

問　予算編成に当たってのポイントは3項目あった。各々で最も成果があった事業は何か。また、課題とする事業と今後の取組は。

答　成果は、都市計画道路白岡宮代線の本線整備の完了、体育館等への空調設備の設置、基幹業務システムの標準化・共通化への対応がある。課題は、実施を見送った市役所本庁舎設備の改修であるが、庁舎火災からの復旧・復興に含めて整備を検討していく。

（編集・レイアウト担当　野々口）

令和７年度　特別会計決算

議案第68号 認定 国民健康保険



問　令和3～7年度の滞納者数の推移は。

答　各年度末における滞納者数は、令和3年度931件、4年度1,068件、5年度1,060件、6年度660件、7年度555件で、5年間の平均は854件である。

問　不納欠損となった理由は。

答　埼玉県で実施する令和9年度の国民健康保険の準統一に向けて、当市でも段階的に保険税率を上げているため、被保険者の負担増が影響していると思われる。

また、滞納処分の執行停止後、3年が経過した後も状況が変わらない場合には不納欠損となるため、3年前に実施したものが数値として表れていると分析している。

問　高額療養費が支給された件数は。

答　6,710件である。

問　1人当たりの医療給付費が増加している理由は。また、市の財政への今後の影響は。

答　高齢化の進行、医療の高度化、疾病の複雑化の影響により、1人当たりの医療費が増加したものと分析している。

また、国民健康保険特別会計は、国・県からの交付金と保険税で賄(まかな)っているため、一般会計への直接的な影響はないと思われるが、中長期的には医療費が増加することで保険税率の上昇、被保険者の負担増が予想される。



議案第69号 認定 後期高齢者医療



反対討論

保険料改定で保険料の軽減措置を改悪し、後期高齢者の保険料は年々引き上げられ、年金は引き下げられている。さらに、一定以上の所得のあるかたの窓口負担の引き上げは、年金受給者の生活を一層苦しくさせている。

議案第70号 認定 介護保険



問　介護保険料の滞納に伴う給付制限措置について、①令和3～7年度の保険料滞納者数、②給付制限措置を受けた被保険者数、③納付により給付制限が解除された件数は。

また、この5年間の推移をどう考えているか。

答　①介護保険料の滞納者数は、令和3年度末265人、4年度末233人、5年度末227人、6年度末223人、7年度末137人。②給付制限措置を受けた被保険者数は、3年度末1人、4年度末4人、5年度末3人、6年度末3人、7年度末2人である。③納付により給付制限措置が解除された人数は0人であった。

また、滞納者数は減少傾向にある。経済状況により納付困難なかたもいるが、個別臨宅訪問の強化や納付相談等の取組の成果と考えている。

問　認知症総合支援事業の不用額が多い理由と今後の対応は。

答　要因は、次の2点である。①認知症初期集中支援チームの委託先が認知症に特化した専門医師等を確保できず、契約に至らなかったこと。今後は、関係機関と連携し、人材確保に努めていく。②10団体を見込んだオレンジカフェが3団体にとどまり、補助金の支出が少なかったこと。今後は、担い手及び開催場所を拡大し、利用者のニーズに即した事業展開に取り組む。

反対討論

介護報酬の連続削減、介護施設の食費・居住費の負担増、要介護1・2の特養入所対象の除外など制度改悪が繰り返されてきた。これでは介護の基盤が脆弱になるのは必然である。

議案第68・69・70号総括質疑

問　国内転出及び国外転出に係る税・保険料の未収状況(人数・額)と、転出後の対応は。

答　令和7年度の転出者数及び未収金額は、国内転出が国民健康保険98人・約1020万円、介護保険5人・約11万円。国外転出が国民健康保険2人・1,800円、介護保険1人・約7万円。後期高齢者医療は国内外転出がともに0人。転出者への納税・納付相談や滞納処分等を通じて、未収金額の最小化に努めている。

議案第71号 認定 白岡駅東部中央土地区画整理事業

問　令和8年度への繰越明許費の内容は。

答　街路等築造事業では、都市計画道路白岡駅東口線の築造工事、同路線の道路照明設置工事、白岡駅周辺の街路築造工事である。

物件等補償事業では、建物4件の物件補償である。

問　電柱等の移設は、工事の進ちょくや予算に影響が生じることはあるか。

答　電柱の移設は、前年度から移設依頼を行い、東京電力とＮＴＴの用地担当において、権利者との協議によりルート選定をしているところである。

しかし、権利者との協議が整わない場合などは、事業者によるルートの再検討など状況に応じて対応していくこととなる。

令和7年度　公営企業会計決算

議案第72号 可決・認定 水道事業



問　県水の割合が前年より上がった要因は。

また、総配水量が減少していく中で、県水と自己水のどちらを減らすのか、考えはあるか。

答　令和7年度の県水の購入量は、令和4年度と令和5年度の総配水量を基に計算した。総配水量が想定より減少したため、構成比が目標の80%を上回った。また、県水と自己水の割合は、県水8割、自己水2割で考えている。配水量は日ごとに変わるので、増減を自己水で調整している。渇水や災害等に対応するため、県水を10割にしない運用としている。

問　管路更新率が例年に比べて低くなっている。平準化していく考えはあるか。

答　現在、管路の更新は石綿管を優先している。今後は、耐用年数に達した管を平準化して更新していく。

問　資産減耗費のうち固定資産の除却費は、減価償却期間に設備を更新したことによるものと思われるが、いかがか。

答　配水管の布設替えで発生したものである。

議案第73号 可決・認定 公共下水道事業



問　令和7年度公共下水道事業工事等実施箇所図に「大規模下水道管路特別重点調査」とあるが、これは令和7年1月の八潮市内の道路陥没事故の関係か。

答　当該事故の関係で実施した調査である。その調査結果を受け、議案第66号の補正予算（第1号）において、空洞調査及び補修工事を今後実施する予定となっている。

問　一般会計補助金の基準内繰入金と基準外繰入金の内訳は。また、基準外繰入金を今回繰り入れない場合は、下水道使用料金をどのくらい増やす必要があるか。

答　基準内繰入金が1億5111万1330円、基準外繰入金は6246万3670円となる。また、繰入れを行わない場合の下水道使用料金については、13%程度増やす必要があると見込んでいる。

≪令和7年度 特別会計決算≫

※1万円未満四捨五入

議案	区分	歳入	歳出	差引額
第68号	国民健康保険	44億7283万円	44億 787万円	6496万円
第69号	後期高齢者医療	9億5974万円	9億4710万円	1263万円
第70号	介護保険	44億8573万円	43億3592万円	1億4981万円
第71号	白岡駅東部中央土地区画整理事業	5億5903万円	4億1204万円	1億4699万円

≪令和7年度 公営企業会計決算≫

※1万円未満四捨五入（税抜）

議案	区分	収益的収入	収益的支出	経常利益	当年度未処分利益剰余金
第72号	水道事業	10億9423万円	10億2718万円	6705万円	1億9776万円
第73号	公共下水道事業	9億3055万円	9億 484万円	2571万円	5118万円
第74号	農業集落排水事業	9782万円	9746万円	35万円	85万円

（編集・レイアウト担当　細井・石渡）

令和8年度　補正予算

議案第54号 可決　一般会計（第2号）

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、防犯カメラ設置費用を補助するため、歳入歳出それぞれ2042万4千円を追加し、予算の総額を215億9706万6千円としました。

問　防犯カメラ設置事業について、3月定例会一般質問では、プライバシーや情報管理、費用等の課題から公共の場への設置を優先し、家庭用の設置に係る補助金は先進事例の調査を進めるとの答弁があった。今回、家庭用の助成開始に結びつけることができた理由は。

答　近隣市での状況を参考に、国の交付金を活用して実施する。実施に当たっては、補助申請者に対し、他人のプライバシー保護を考慮した撮影範囲とするほか、撮影した画像等を適切に管理することなどへの同意書の提出を求めていく。



議案第61号 可決　一般会計（第3号）

歳入歳出それぞれ3億619万5千円を追加し、予算の総額を219億326万1千円としました。

問　総合運動公園維持管理事業で、今年度から導入している指定管理の状況はどうか。

答　自主事業に積極的に取り組んでいただき、施設のPRとなっている。また、樹木は、指定管理者が低・中木の剪定を行い、市が3m以上の高木の剪定を行うが、指定管理者が常に見回りをし、安全管理を行っている。

問　道路の維持補修は、順位付けを行い実施しているが、今後の当初予算の編成に向けて、近年の雨などによる想定以上の舗装の劣化状況を加味し、計画路線に次点路線を加え予算確保をしていくのがよいのではないか。

答　舗装工事は、優先順位の高い所から行っているが、突発的に対応する必要のある路線については順番が前後することもある。しかし、適正に道路を管理する必要があるため、1件でも多く当初予算の要望を行い予算化し、適正に管理していきたいと考えている。

議案第64号 可決　介護保険（第2号）

歳入歳出それぞれ1億7195万1千円を追加し、予算の総額を44億3549万円としました。

問　地域密着型介護予防サービス費の増額の理由は何か。

答　介護予防小規模多機能型居宅介護やグループホームを利用する要支援認定者について、新規利用が増えたことにより、給付費が増額となるものである。

問　第1号被保険者保険料還付金を増額する理由は何か。

答　税務課での所得減額更正に伴う還付金や、日本年金機構への返還金額が予想より多かったことから、増額対応するものである。

議案第65号 可決　白岡駅東部中央土地区画整理事業（第2号）

歳入歳出それぞれ1790万円を追加し、予算の総額を3億7892万9千円としました。

問　物件等補償事業で、電柱移設に係る補償費1790万円について、通常1本の移設につき、50～60万円程度と想定される。詳細を伺う。

答　都市計画道路白岡駅東口線に係る新たな電柱設置について、沿線権利者との協議が整わないため、電線ルートの見直しを行った。ＮＴＴは道路照明に係る移設を含めて6本、東京電力は6本の移設と白岡中央大橋南側の街区に係る約500万円の電線の張替えである。

議案第66号 可決　公共下水道事業（第1号）

収益的収入202万8千円及び同支出572万8千円を増額し、資本的収入2090万円を減額しました。

問　資本的収入の他会計出資金において、2090万円の減額となった詳しい説明を。

答　公営企業会計は基準外繰入金を受け入れて経営しているため、必要十分以上の資金を保有しないようにしている。決算時点で最低限必要な翌年度の支出に使用できる資金を超えて保有した資金を、繰入金の減額という形で一般会計に返金している。

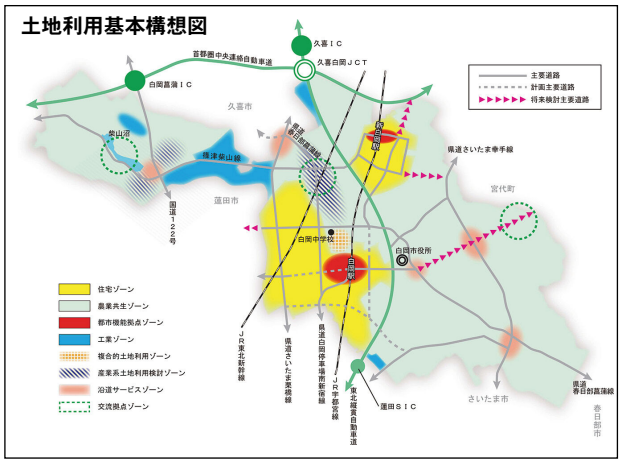
（編集・レイアウト担当　寺戸・菱沼）

基　本　構　想

議案第57号 可決　市の基本構想を策定すること

第6次総合振興計画基本構想の計画期間は令和4～13年度ですが、近年の社会経済情勢の変化などに対応するため、新たな基本構想を策定したものです。

▲第6次総合振興計画基本構想（議案資料）



問　計画期間の人口の見通しについて、現状の人口が5万2100人以下となっている中、目標を5万2000人とした理由は。

答　令和4年度からの現行の基本構想で想定していた推計人口よりも、実際の人口減少が抑えられた。施策の方向性は間違っていないと考えられる。引き続き、施策を継続することで人口減少を抑えられると考える。

問　白岡駅周辺は東西口で都市計画道路が開通することになるが、道路周辺の土地利用をどう考えるか。また、新白岡駅周辺の低未利用地の利活用促進は、駐輪場跡地も対象か。

答　白岡駅西口は、都市計画の見直しを検討する予定である。それに合わせて企業誘致を検討していく。新白岡駅周辺は、東口の駐輪場跡地も対象という認識である。

問　県道さいたま栗橋線は、歩道が未整備である。沿道サービスゾーンに位置付けた意義も県に説明し、歩道整備を進めるように協議してほしいと考えるが、いかがか。

答　県道さいたま栗橋線は、今回の基本構想から沿道サービスゾーンに新しく位置付けるものである。県と協議していく中で、立地する企業にとって不便とならないようにしていきたい。

人　　事

議案第55号 同意　固定資産評価審査委員会委員の選任

現委員の坂巻仁志（さかまきひとし）氏の任期が令和8年9月30日で満了となるため、同氏を再任するものです。

議案第56号 同意　教育委員会委員の任命

現委員の和田玲子（わだれいこ）氏の任期が令和8年9月30日で満了となるため、後任として、公募で選考された新谷しづ恵（しんたにしづえ）氏を任命するものです。

工事請負契約の締結

議案第53号 可決　義理橋架替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）

履行期限：令和10年9月29日
請負金額：2億7716万7千円

問　直近の菁莪学校橋架替工事は、湧水等により大変な難工事になった。義理橋架替工事も先の工事と同じ業者が設計しているが、大丈夫か。さらに、不測の事態が起こったときは、河川管理者である県に支援を仰ぐとのことだが、その支援内容は。

答　掘削時の湧水を想定し、施工手順を検討している。施工時の安全性を高めるため、橋台施工時に設置した土留矢板を護岸施工時にも土留として活用する計画としている。また、不測の事態が起こった際は、施工方法の変更や費用負担について県と協議を行う。

問　予定価格に対する落札率は何％か。また、応札会社数は何社か。

答　予定価格に対する落札率は99.2％である。また、応札者は3社である。


岡泉地内にある義理橋

（編集・レイアウト担当　浜口・松本）

Q&A 一般質問 市政のそこを問いたい！



防災

石渡 征浩（いしわた まさひろ） 議員（TSUNAGU）

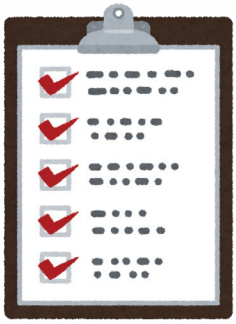
防火対策のその後は

答弁…公共施設ごとに点検を実施している

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　昨年の市役所火災後に、出火原因となり得る潜在リスクを全て洗い出し、チェックリストを使った日々の点検を徹底すべきと指摘したが、その後の運用状況を伺う。また、欠落している観点をチェックリストに追加するよう提言したが、どうなっているか。

答　市では、チェックリストを作成し、毎日点検、毎月点検、そして半年点検と、３段階での点検を公共施設ごとに実施している。チェックリストの見直しについては、運用開始から１年が経過した時期を目途に更新を行っていきたいと考えている。



農業 しらおか味彩センターへのテコ入れを

答弁…活気あふれる店づくりに努める

問　しらおか味彩センターの問題点は成長性で、お買い上げ客数と売り上げが10年連続で下降基調にあること。おおばん市場の品ぞろえの強化が急務である。既存出荷者へのインセンティブの付与を検討したらどうか。また、新規就農者への支援は、どうなっているか。

答　出荷者を増やし品ぞろえの充実を図るための方策や透明性の高い基準・運用体制によるインセンティブの設計を、指定管理者と調整したい。また、新規就農者は厳しい農業経営が続くが、近い将来、しらおか味彩センターに出荷していただけるよう調整したい。



受援

野々口 眞由美（ののぐち まゆみ） 議員（TSUNAGU）

災害に備え、受援計画の策定を

答弁…実効性のある受援計画を策定していく

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　大規模災害時には、市だけでの対応には限界があり、国や県、民間等からの支援を円滑に受け入れる体制が不可欠である。全国で発生した災害で明らかになった課題を踏まえ、本市の受援体制の現状と実効性ある受援計画を策定する考えについて伺う。

答　現受援体制は地域防災計画及び業務継続計画に基づき人員や物資の受け入れ方法等を定めているが、激甚化する大規模災害に備え、迅速かつ的確な支援が行えるよう国や他自治体での課題や体制を踏まえ、地域防災計画等の見直しと併せて受援計画を策定していく。



生成AIで作成

履行 業務委託及び指定管理の適正な運用を

答弁…適正な運用が図れるように対応していく

問　業務委託や指定管理における履行確認や評価について、規程等があっても担当課や担当者によって運用にばらつきが生じている。

　適正な事業運営と税金の使途を担保するため、統一的な基準や仕組みを整備し、運用を改善する考えはないか。

答　所管課によって監督方法や履行確認、成果物の管理の方法や水準が異なることのないように、現行の例規の課題や規定の不足等を洗い出し、新規策定や改定も含めて具体的に検討を進めていく。

一人につき２項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページをご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

▲市議会HP



尾嶋（おじま） 一雄（かずお） 議員（MIRAI）

施策にナッジ手法の活用を

答弁…積極的にナッジ手法を取り入れていく

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　人々が自発的に望ましい行動を選びやすくするナッジという手法があるが、市は、その手法を施策に取り入れているか。

　また、この活用方針を明確に示すためには、横断的な組織であるナッジ・ユニットの設置が必要と考えるが、いかがか。

答　環境や健康増進など市民生活に身近な分野でナッジの考え方を取り入れた取組を行っている。引き続き、各部署において、業務や施策の中で、できることからナッジ手法を積極的に取り入れ、その効果や課題を積み重ね、行政サービスの向上につなげていく。



ナッジ手法を活用した
足跡のステッカー

避難 避難行動要支援者制度の運用確立を

答弁…防災や災害時の円滑な対応につなげたい

問　市は、避難行動要支援者名簿登載者のうち、平時から情報提供の同意を得ているかたの名簿を、民生委員・児童委員などに提供している。この名簿の平時における活用方法について、どのような運用を想定し、共有化を図っているか。

答　平時においては、防災や災害時の円滑な対応につなげることを目的として、民生委員・児童委員の訪問・見守り活動など、地域の防災体制構築に活用できるものと考えている。また、行政区長会や自主防災組織の会議等において制度の周知及び共有化を図っている。



細井（ほそい） 藤夫（ふじお） 議員（WAKABA）

市立図書館を通じた大人の読書推進策を

答弁…大人に向けた取組を推進していく

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　電子書籍やオーディオブックの登場により文学への接し方が激動している時代である。図書館が「本好きがつながる場」として機能し、「紙の本を読む体験を支える場」として、将来的に維持され続けるためにも、大人の読書推進策が必要と考えるが、いかがか。

答　読書を取り巻く環境が変化する中、大人に向けた取組の充実が必要である。本を通した市民の交流等により、図書館の利用が少ない市民にも足を運んでいただけるよう、他の図書館における成功事例やノウハウを生かした指定管理者による取組を推進していく。


白岡市立図書館
（生涯学習センター）

交通 本町通りの交通安全対策は

答弁…交通安全に係る啓発等を実施していく

問　市道2-9号線「本町通り」と5264号線の丁字路は、本町通り側の停止線を超えて停止する車が多く、混雑の一因となっている。路面標示の改修やカーブミラーの大型化など、追加の対策ができれば安全性の向上につながると考えるが、いかがか。

答　関係機関と協議し、路面標示等の交通安全対策を実施しており、これ以上の対応は難しい。カーブミラーの視認性は確保されており、大型化は車両への接触の危険性が高まることや電柱等の設置状況により難しい。引き続き、交通安全に係る啓発等を実施していく。

Q&A 一般質問 市政のそこを問いたい！



菱沼（ひしぬま） あゆ美（あゆみ） 議員（公明党）

HPV関連がんの予防と撲滅を

答弁…ワクチンの接種率の向上に努める

▲録画配信
（８月31日一般質問）

問　ＨＰＶ※は男女に感染し、子宮頸がん・中咽頭がんなどの疾患の原因となる。子宮頸がんは女性の若い世代が多く罹患し、死亡率も高い。予防接種の接種率向上が必須である。毎年、より幅広く再勧奨通知を送ってはどうか。また、男子への接種助成を開始しては。

答　未接種者への毎年の再勧奨は費用対効果の観点から難しいため、接種期限が近づくかたへの効果的な周知方法を工夫する。

　また、男子への接種助成については、国における定期接種化の動向や先行実施自治体の接種状況を注視するなど情報収集に努める。



※　ＨＰＶ…ヒトパピローマウイルスの略

学校 熱中症対策で 校内に給水機設置を

答弁…水筒補給の環境整備の検討を進める

問　児童生徒は、熱中症対策で学校に水筒を持参している。中身が空になった場合は、どう対応しているか。生活様式の変化で、水道の蛇口から直接水をくむことに抵抗が生じている。民間企業と協定を結び、校内に冷水が出る給水機の設置を推進しては、いかがか。

答　持参した水筒が空になった場合は安全な水道水で補給している。一方で、水道水を直接飲むことに抵抗のある児童生徒もいることから、費用や衛生管理等の課題を整理しつつ、民間企業との協定締結等の可能性も含め、給水機設置の実現に向け、検討を進めていく。



黒須（くろす） 大一郎（だいいちろう） 議員（白和）

財政と基金に問題はないか 次期方針は

答弁…財政健全性と総合振興計画との一体推進

▲録画配信
（９月１日一般質問）

問　財政リスクとしてふるさと納税による市税流出、入札不調、市債の金利負担、超長期国債の流動性の低さがある。これらや、大山小学校廃校、都市計画税増税なども踏まえ、行財政改革の成果と課題を検証し、次期行財政改革方針を市民に示す必要性があるのでは。

答　行財政改革方針の実施目標に掲げる「財政の健全性の維持」のための指標はすべて達成している。今後は、総合振興計画の行財政分野に位置付ける公共施設の再編やＤＸの推進などを本市の行財政改革の重要な取組とし、総合振興計画と一体的に推進していく。



継続 止めない市役所へ ＢＣＰの実効性向上を

答弁…ＢＣＰの見直しに併せて研究していく

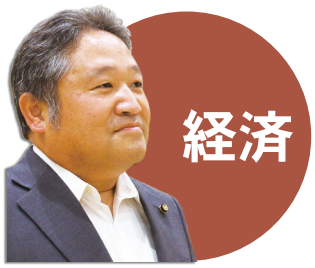
問　発災時のみならず復興時における市の業務継続の実効性を担保し、向上させるためには、少なくとも健康福祉部の執務における代替施設の選定を先行して行うべきではないか。

　市として、業務継続体制の実効性をどのように高めていくのか。

答　福祉部門等の機能維持は重要であるため、迅速に行政機能の復旧・維持ができるよう、ＢＣＰの見直しに併せ代替施設の研究を進める。また、ＢＣＰの実効性を高めるため、見直しを進めるとともに、危機意識を持ち災害時に率先して行動できる職員を養成していく。

一人につき２項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページをご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

▲市議会HP



嶋田（しまだ） 友一郎（ゆういちろう） 議員（白和）

地域経済活性化を高速道路休憩施設から

答弁…効果的な販売・ＰＲ方法を検討する

▲録画配信
（９月１日一般質問）

問　高速道路休憩施設は多くの通行客が集まり、地域の魅力発信の拠点になり得る。近隣ＳＡ・ＰＡにおいて、特産品や関連商品のＰＲ推進や市民の情報発信の場となるイベント等を開催し、地域経済の活性化につなげては。また、シティプロモーションを展開しては。

答　近隣ＳＡ・ＰＡへの出店は、出店料などの事業者負担が伴うため、その目的や効果を精査する必要がある。今後は、事業者に対し、特産品の販路拡大やＰＲの意義を説明していくとともに、近隣ＳＡ等での出店を含め、効果的な販売・ＰＲ方法を検討していく。

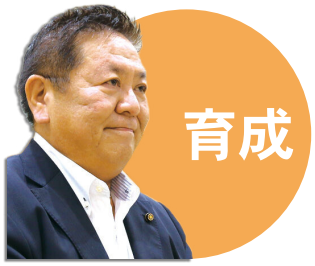


復旧　利便性が高く働きやすい本庁舎設計を

答弁…市民や職員の声を反映させる

問　仮設本庁舎は、１階層であり市民のかたがたに好評である。また、執務空間へのフリーアドレスの導入は、担当課を超えたコミュニケーションや連携がしやすいメリットが存在する。これら、市民と職員の声を本庁舎復旧の具体的な設計に生かしてはどうか。

答　仮設本庁舎のフリーアドレス導入により、部署間の連携や業務の効率化が図られた一方、打合せや相談スペース不足などの課題がある。市民からの好評な点や中堅職員で構成された本庁舎整備プロジェクトチームの意見を踏まえ、本庁舎設計に反映させていく。



和賀（わが） 正義（まさよし） 議員（MIRAI）

地域資源による人づくりとまちづくりを

答弁…現状課題を踏まえて、検討を重ねていく

▲録画配信
（９月１日一般質問）

問　学校は地域住民が世代を超えて関わり、学び、つながっていく場所になることが理想である。地域資源を活用したキャリア教育を更に充実させる考えは。また、農業者や農地などの地域資源を、子どもや地域住民の学びに生かすための場の創造について伺う。

答　学校と地域の架け橋となる体制整備を更に進めるとともに、地域の多様な人財を学校教育やキャリア教育の中へ積極的に導入し、学びの充実と育成に力を注いでいく。また、子どもの学びの場については、先進事例を参考に市として何ができるかを検討したい。



生成AIで作成

環境　持続可能な道路管理と職員の安全対策を

答弁…適切な安全対策のもと道路除草を行う

問　猛暑や降雨の影響もあり雑草の生育が早い。除草の時期や回数の見直し、民間委託や地域との連携など、今後の除草管理、除草体制の強化についてどう捉えているのか。

　また、屋外作業を行う職員の安全確保のため、機能性の高い装備を導入する考えは。

答　道路等の除草は、事業者への委託や職員により実施するだけでなく、地域との連携も含め適切に行い、安全な道路環境の維持に努める。また、職員が屋外作業を行う際は、熱中症対策としてファン付きベスト等の機能性の高い装備を必要に応じて導入していく。

Q&A 一般質問 市政のそこを問いたい！



加藤（かとう） 一生（かずお） 議員（真風）

最新の治水行政と今後の展開は

答弁…持続可能な治水対策を推進していく

▲録画配信
（９月１日一般質問）

問　長年にわたり、市の下水道行政は豪雨への事前対応を行ってきた。一方、ここ数年、同時多発的に台風が発生し、線状降水帯も頻繁に発生するようになっている。最新の治水状況はどうなっているか。また、今後は、どう展開していくのか。

答　内水氾濫について、浸水が想定される区域や浸水する深さを図示した内水浸水想定区域図の作成を進めるなど、治水対応に取り組んでいる。将来的な水害リスクの増大に備えるため、国・県・流域内の自治体と連携、協力を図り持続可能な治水対策を推進していく。


西部産業団地内の調整池

豪雨 千葉豪雨発生時の市の対応は

答弁…大雨に備え適切な体制を構築していく

問　①　令和８年８月千葉豪雨による当市への影響を想定し、市はどのような事前対処、行動及び事後活動をとったのか。

②　①は、どういう体制で対応したのか。そして、今後は、市内における豪雨に対し、どのような体制で対応していくのか。

答　①大雨に備え事前に道路や排水路の管理を行うとともに、降雨状況に合わせた待機体制等を敷いた。翌日は被害調査を実施した。②事業担当課を中心に対応した。今後、警察、消防や協定締結者等と連携し職員の配備体制などを整え、持続可能な体制の構築を図る。



中山（なかやま） 廣子（ひろこ） 議員（公明党）

放課後等デイサービスと学校との連携を

答弁…情報共有・連携の充実に努める

▲録画配信
（９月２日一般質問）

問　学校と放課後等デイサービスが、子どもの状況や支援について十分に情報共有し、同じ方向を向いて支援することは重要である。市として連携の基本的な考え方やルールを示し、連携を進めるべきと考えるがいかがか。

答　学校と放課後等デイサービスは、連絡帳の活用やケース会議等を通じて連携を図っている。一方で、学校・事業所ごとに連携方法の違いや情報共有の課題もあることから、教育委員会と福祉部門が連携し、学校や事業所のニーズを把握しながら連携の充実に努める。



検診 乳がんの早期発見に向けた検診の充実を

答弁…指針に応じたがん検診で早期発見を図る

問　乳がんの早期発見につなげるため、高濃度乳房を含む乳房構成※を受診者に通知し、その意味や留意点を分かりやすく伝えてはいかがか。また、希望者が超音波検査を受けられる検診体制を整えてはいかがか。

答　高濃度乳房に関する正しい知識の周知に努めていく。また、市の乳がん検診は国の指針に基づいて実施しており、現在、超音波検査は含んでいない。検査方法については医療機関の検査体制を整える必要もあることから、今後の国の動向に基づき実施していく。

※　乳房構成…乳房内の乳腺と脂肪の割合を示すもので、乳腺の密度によって4つに分類される。

一人につき２項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページをご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

▲市議会HP



寺戸（てらど） 睦子（むつこ） 議員（真風）

のりあい交通の周知強化を

答弁…一層の周知啓発に取り組んでいく

▲録画配信
（９月２日一般質問）

問　のりあい交通について以下３点を伺う。①子育て関連等施設（児童館・こもれびの森等）での周知強化。②若い世代の利用促進に向けたモニターキャンペーンの実施。③子育て世代や若年層への情報発信の充実に向けたシラオ仮面活用による広報拡充の検討。

答　①子育て関連施設に登録申請ができるＱＲコード付きの案内ポスターを掲示し、周知を強化する。②モニターキャンペーンは運行体制の維持や効率化等の課題と併せて将来的な可能性を整理する。③シラオ仮面を活用したＰＲ動画やＳＮＳでの情報発信を図る。

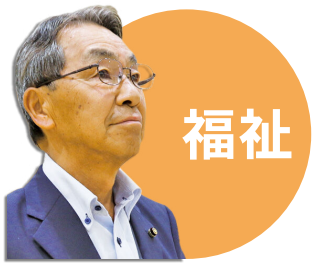

のりあい交通

子育　子育て支援拡充と給食費の補助公平化を

答弁…社会情勢を踏まえ子育て支援に取り組む

問　市が重点的に推進している子育て支援施策は。また、当市中学生の市内外通学状況と、市立のみ給食費補助対象とする理由を伺う。さらに、市内通学者と同等の補助を望む市外通学者の保護者からの声を踏まえ、通学先にかかわらず補助ができないか伺う。

答　こども家庭センターによる包括的支援、子どもの居場所づくり、保育所の計画的整備を重点的に推進している。通学の状況は市内約95％、市外約5％。給食費補助は市立学校給食事業への支援制度であり、市外通学者への基準設定が困難なため、拡大の予定はない。



浜口（はまぐち） 清志（きよし） 議員（日本共産党）

高齢者補聴器購入助成の更なる充実を

答弁…必要に応じて制度の見直しを検討する

▲録画配信
（９月２日一般質問）

問　この助成事業は、令和７年７月から開始されたが、今年度の申請の状況は。

　令和７年度における県内自治体の平均助成金額は、２万６千円であった。来年度予算編成に向け、他の自治体の事例を踏まえ、上限を２万円から更に増額する考えは。

答　今年度は７月末時点で、11名の申請があった。昨年7月に開始したばかりの取組のため、まずは利用状況や手続き方法などの検証・分析を優先し、今後の運用の過程において、他自治体の事例なども参考にしつつ、必要に応じて制度の見直しについて検討していく。



防災　災害時協力井戸の制度周知と登録目標は

答弁…災害時協力井戸の登録者の増加に努める

問　災害時協力井戸とは、大規模な災害で水道が断水したときに、近隣の住民へ生活用水として提供してもらうため、自治体に登録された個人や法人の井戸である。制度の周知の方法はどのように行っているか。災害時協力井戸の登録目標をどのように考えているか。

答　制度周知及び登録者の募集をホームページや広報紙、行政区等への案内、イベントでのチラシ配布など多方面で実施している。登録目標数の設定はないが、登録者の少ないエリアに重点を置いた周知を行うなど、効果的な方法を模索し、登録者の増加に努める。

Q&A 一般質問 市政のそこを問いたい！



大島 勉（おおしま つとむ） 議員（無所属）

行政

副市長の職務倫理と説明責任は

答弁…丁寧な情報発信と説明に努めていく

▲録画配信
（９月２日一般質問）

問　旧大山小学校の跡地利用に関連して副市長が学校法人と県を訪問した事実が、議会や住民に説明されなかった。この経緯を踏まえ、公平性・透明性、過去答弁との整合性及び説明責任をどう認識し、今後どのようにする考えか伺う。

答　未確定情報の不用意な周知・公表は誤解を招く恐れがあり、案件の性質や熟度、相手方との協議の状況等を踏まえ、適切な公表時期を判断することが重要であると考える。議会や住民説明においては、より分かりやすく丁寧な情報発信と説明に努めていく。



生成AIで作成

教育

教育行政の総括と改革を

答弁…信頼される開かれた教育行政を目指す

問　教育長就任後、４年間の成果と課題をどのように総括しているのか。市民の信頼回復に向け、重要事案の事後検証、教育委員会会議の活性化、子ども・保護者の声の政策反映、意思決定過程の公開など、具体的な組織改革を進める考えはあるか。

答　４年間、子どもたちの安心・安全と学びの充実に取り組んできた。今後は、教育委員の議論を活発にし、子どもや保護者、市民の声を施策に生かすとともに、重要事案の検証や情報公開を進め、信頼される開かれた教育行政を目指す。



斎藤 信治（さいとう しんじ） 議員（WAKABA）

福祉

ありの実館・東ありの実館で生活介護を

答弁…指定管理者と協議を進めていく

問　就労継続支援Ｂ型のありの実館及び東ありの実館は、赤字決算に苦しんでいる。利用者の実態に即して生活介護事業所またはＢ型との多機能型に移行すべきではないか。

　また、福祉避難所としての役割は困難である。菁莪中学校などへの移転はできないか。

答　両施設の事業形態については、利用者のニーズ等を把握したうえで、指定管理者と協議を進めながら、より良い方向性を見定めていく。施設の機能移転については、既存施設の活用を含め、公共施設再編の中で、さまざまな選択肢の一つとして検討していく。

▲録画配信
（９月１日一般質問）

県４区議長会議員研修会

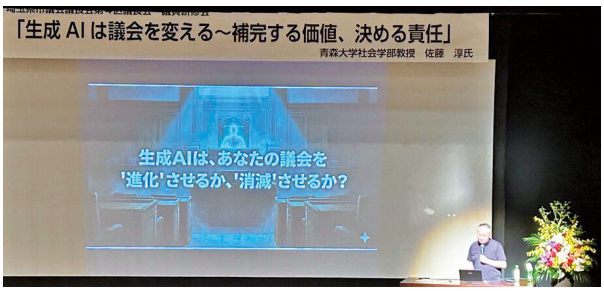
令和８年７月31日　春日部市

青森大学社会学部教授の佐藤淳氏を講師に迎え、

「生成AIは議会を変える
～補完する価値、決める責任」

をテーマに次の３つをゴールとした講演が行われました。

・「生成AI」で議員活動の何が変わるかを理解する。
・明日から試せる具体的な使い方を一つ持ち帰る。
・議会としての活用イメージを持つ。



＊埼玉県市議会議長会第４区議長会は、行田市、加須市、春日部市、羽生市、越谷市、久喜市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市の全12市で構成されています。

委員会活動報告

「見たこと・聞いたこと、そして考えたこと」

総務常任委員会

埼玉東部消防組合の新たな高機能消防指令センター

令和８年７月６日(月)　埼玉東部消防組合(久喜市)

視察概要 令和８年４月から運用を開始した高機能消防指令センターの新システムや施設の運用状況等の実地視察を行った。

所　感 最新鋭のデジタル技術やＡＩの導入により、聞き間違いの防止や迅速な出動指令が可能となっており、地域の「安全・安心」を守る拠点としての大きな進化が確認できた。10年後のシステム更新を見据えたスペース確保など、将来への備えも評価される。一自治体では困難である高度なシステムの整備が消防組合という枠組みによって実現されており、広域連携のメリットを改めて実感した。



文教厚生常任委員会

民生委員・児童委員の先進的な取組

令和８年７月30日(木)　東京都八王子市役所



視察概要 民生委員・児童委員の担い手不足、活動負担の増加、災害時の避難行動支援等の諸課題に関し、八王子市の特徴ある取組の説明を受けた。

所　感 民生委員・児童委員には、日頃、地域の見守りや相談活動に尽力いただいている。八王子市の活動では、行政や学校等の専門機関へつなぐ「橋渡し」としての役割を重視し、委員が一人で抱え込まず相談しやすい体制を整えている。また、ＤＸ化・ＩＣＴ活用による調査活動や安否確認の負担軽減、ホームページ運用による積極的な制度周知を進めている。本市においても参考となる取組であった。

産業建設常任委員会

DXを活用した地域産業の活性化

令和８年７月28日(火)　新潟県新潟市役所



視察概要 新潟市のDXプラットフォームによる企業間連携や新規事業創出の仕組み、デジタル技術による支援制度の説明を受けた。

所　感 新潟市DXプラットフォーム推進事業において、業種を問わず企業・事業者が、それぞれの持つ技術や知識、アイデアを生かし、新たな製品やサービスの創出、実証実験などに取り組んでいる。行政が企業や人材をつなぎ、地域課題の解決や新規事業の創出を支援する仕組みは参考となった。本市においても、商工会や関係機関との連携を図り、中小企業の生産性向上や新たな事業展開につながる環境づくりが必要であると感じた。

農業体験を通じて郷土愛の醸成を

令和８年７月28日(火)　アグリパーク(新潟県新潟市)

視察概要 新潟市の農業体験を学校教育に体系的に位置付けた取組や、教育委員会と農政部門の連携、農業振興への活用の説明を受けた。

所　感 新潟市は、農業体験を学校教育に位置付け、食育や郷土愛の醸成につなげる取組を行っている。学校が農業体験に参加しやすいよう交通費等を支援するとともに、地域農業者と連携し、就農支援や食品加工支援など、農業を教育・産業・交流に生かしている。本市においても、教育委員会や農業者等と連携し、地域資源を生かした農業体験や食育を充実させ、地域農業への理解と関心が高まることを期待したい。



≪７月議会臨時会及び９月議会定例会の審議結果≫

（○：賛成　×：反対　欠：欠席　－：表決なし）

議案番号		件名	1 寺戸 睦子	2 尾嶋 一雄	3 嶋田友一郎	4 細井 藤夫	5 浜口 清志	6 和賀 正義	7 野々口眞由美	8 石渡 征浩	9 斎藤 信治	10 加藤 一生	11 松本 栄一	12 中山 廣子	13 菱沼あゆ美	14 遠藤 誠	15 大島 勉	16 黒須大一郎	17 江原 浩之	18 中川 幸廣 ※2	議決結果
７月議会臨時会	53	義理橋架替工事（下部工・護岸工・旧橋撤去工）請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－	原案可決
７月議会臨時会	54	令和８年度一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	報告6	令和7年度一般会計継続費精算報告書の報告　※1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	報告済み
９月議会定例会	55	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同　意
９月議会定例会	56	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同　意
９月議会定例会	57	市の基本構想を策定すること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	58	印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	59	こども医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	60	道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	61	８年度 一般会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	62	８年度 国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	63	８年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	64	８年度 介護保険特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	65	８年度 蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	66	８年度 公共下水道事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
９月議会定例会	67	７年度 一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認　定
９月議会定例会	68	７年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認　定
９月議会定例会	69	７年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認　定
９月議会定例会	70	７年度 介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認　定
９月議会定例会	71	７年度 蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認　定
９月議会定例会	72	７年度 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決及び認定
９月議会定例会	73	７年度 公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決及び認定
９月議会定例会	74	７年度 農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決及び認定

※１　報告第６号については、報告のみの案件であるため、採決は行っていません。
※２　18番　中川幸廣議員は、議長のため、採決には加わっていません。

パブリックコメント

白岡市議会議員政治倫理条例（案）に対する意見等を募集します。

この条例は、議会に対する市民の信頼を確保し、清廉で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的としています。

募集締切　11月15日（日）　**対象者**　市内在住、在勤、在学等のかた

条例の公表場所　①仮設本庁舎（議会事務局内）　②市役所大山庁舎　③保健福祉総合センター（はぴすしらおか）　④生涯学習センター〔こもれびの森〕　⑤中央公民館　⑥コミュニティセンター　⑦勤労者体育センター　⑧市議会公式ホームページ

意見等の提出方法　所定の様式に住所、氏名、連絡先、意見等を明記し、①～⑦の意見回収箱への投函、⑧のお問い合わせフォーム、議会事務局への郵送（締切日消印まで）またはメール（gikaijimukyoku@city.shiraoka.lg.jp）

▲市議会ＨＰ

傍聴者数

７月臨時会	1名
９月定例会	21名
委員会	57名
（うち委員外議員57名）	

※延べ人数です。

次回定例会
11月26日（木）開会予定

広聴広報常任委員会

委員長	尾嶋　一雄
副委員長	野々口眞由美
委　員	寺戸　睦子
委　員	細井　藤夫
委　員	浜口　清志
委　員	石渡　征浩
委　員	松本　栄一
委　員	菱沼　あゆ美

編集後記

９月議会では、主に令和7年度決算について審議しました。各事業とも、予算に見合う成果が得られたのか、その成果を得るための予算は必要最低限であったのか、などを中心に議論を深めました。次の効果的な予算編成につなげるためです。

市民の皆さまに分かりやすくお伝えするため、今号も一言一句にこだわって編集いたしました。（石渡）

発行／白岡市議会（2026年11月1日）　〒349-0292　埼玉県白岡市千駄野432番地
編集／広聴広報常任委員会　TEL 0480（31）6084（議会事務局）